

長野の恵愛学園に ネット学習ソフト

大阪の企業が寄贈

長野市松代町西条の児童養護施設「恵愛学園」に、インターネットを活用する学習ソフトとパソコン2台が贈ら



ネット学習ソフトの目録を受け取る戸谷園長(右)

れ、29日贈呈式が開かれた。寄贈したのは、ネットを利用した学習システム開発・販売の「イー・ラーニング研究所」(大阪府吹田市)。同社の吉田智雄社長(47)らが施設を訪れ、戸谷隆典園長(66)に目録を手渡した。

同社によると、学習ソフトは小学生から高校生までの英語、数学など6教科に対応し、分からないところを繰り返し学べるのが特徴。同社は児童福祉施設の学習環境向上を目的に2009年から毎月、全国の施設に学習ソフトを寄贈している。

恵愛学園は現在、2、18歳の48人が学ぶ。戸谷園長は「子どもたちを塾に通わせたり、講師を雇ったりするゆとりはないのでありがたい」と話していた。